

# 1章 登別市のみどりの基本計画について

## 1. みどりの基本計画について

近年、温暖化や酸性雨など地球規模の環境問題や都市部におけるヒートアイランド現象\*などの一因として、みどりの減少が挙げられています。また、市民ニーズは、自然とのふれあいなど心の豊かさを求める傾向が強くなってきており、みどり豊かで潤いのある生活環境を形成することが求められています。

このようなことから、平成6年、都市緑地保全法\*が改正され、「緑地の保全および緑化の推進に関する基本計画＝緑の基本計画」制度が創設され、住民に最も身近な自治体である市町村が、地域の実情を充分考慮し、みどりの保全と創出、みどり全般についての将来あるべき姿、それを実現するための施策をより具体的に検討できるようになりました。

登別市では、これまでも公園や広場の整備を計画的に進めるとともに、市民参加のもと、市民緑化推進事業や市民記念植樹、またみどりの講演会・講習会などを通じて、緑化の推進や啓発に努めてきました。今後は、この取り組みの拡大を図るとともに、都市環境の変化や市民の多様な要望に応えるため、時代のニーズにあった新しい視点からみどりを捉え、その量と質を高めていくことが必要です。

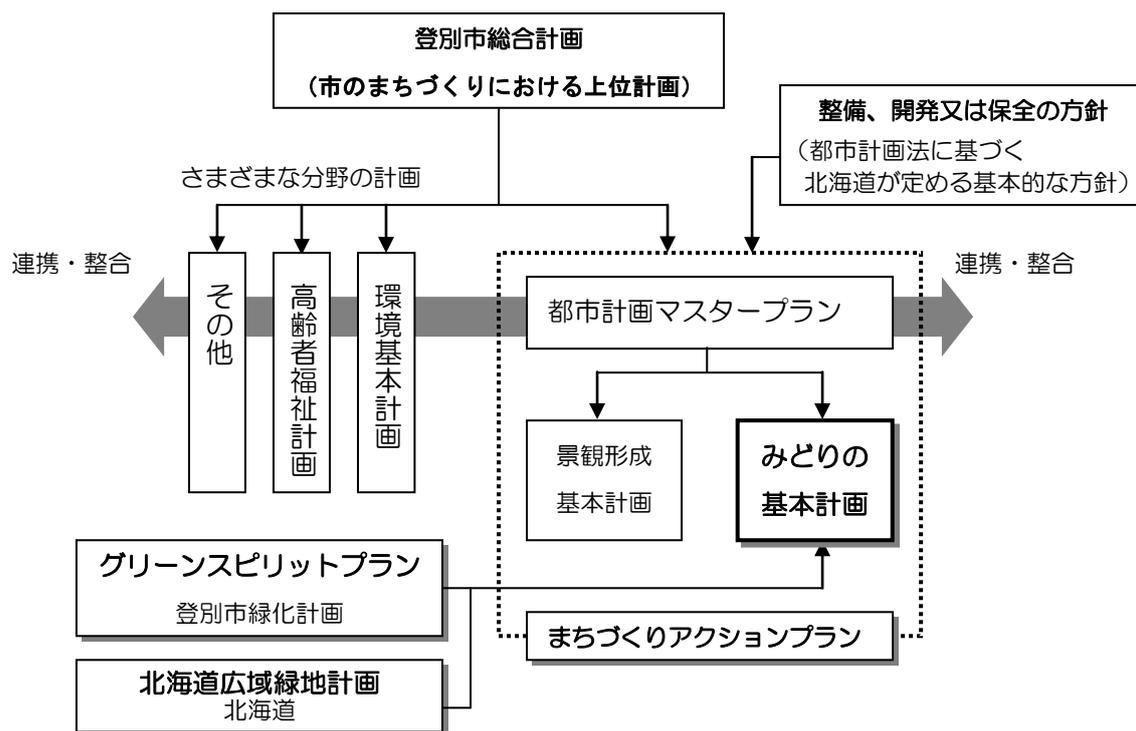
このような現状を踏まえ、市民、企業、行政が一体となってみどり豊かなまちづくりを進めるために「みどりの基本計画」を策定することとしました。

## 2. みどりの基本計画の位置づけ

「登別市みどりの基本計画」は、「登別市総合計画」を上位計画とし、都市計画法に基づく「整備、開発又は保全の方針」並びに広域的観点から北海道が示している「北海道広域緑地計画」との整合を図りながら定めたものです。

すでに登別市では、平成9年に市全体を対象とした緑化計画「グリーンスピリットプラン」を策定しており、「登別市みどりの基本計画」は、この「グリーンスピリットプラン」を基本にしながら、より具体的に緑地の保全や緑化の推進方策、公園の配置方針、市民参加のしくみなどを検討し策定しました。

また、土地利用の基本方針を定めた「登別市都市計画マスタープラン」を基本とし、「みどりの基本計画」、「景観形成基本計画」を加えた3つの計画を都市環境の観点から関係が深いため、「まちづくりアクションプラン」として一体的に捉えて、積極的な市民参画のもと、互いに関連する項目について、効率的、効果的に総合調整が図られるよう、同時に策定を進めました。

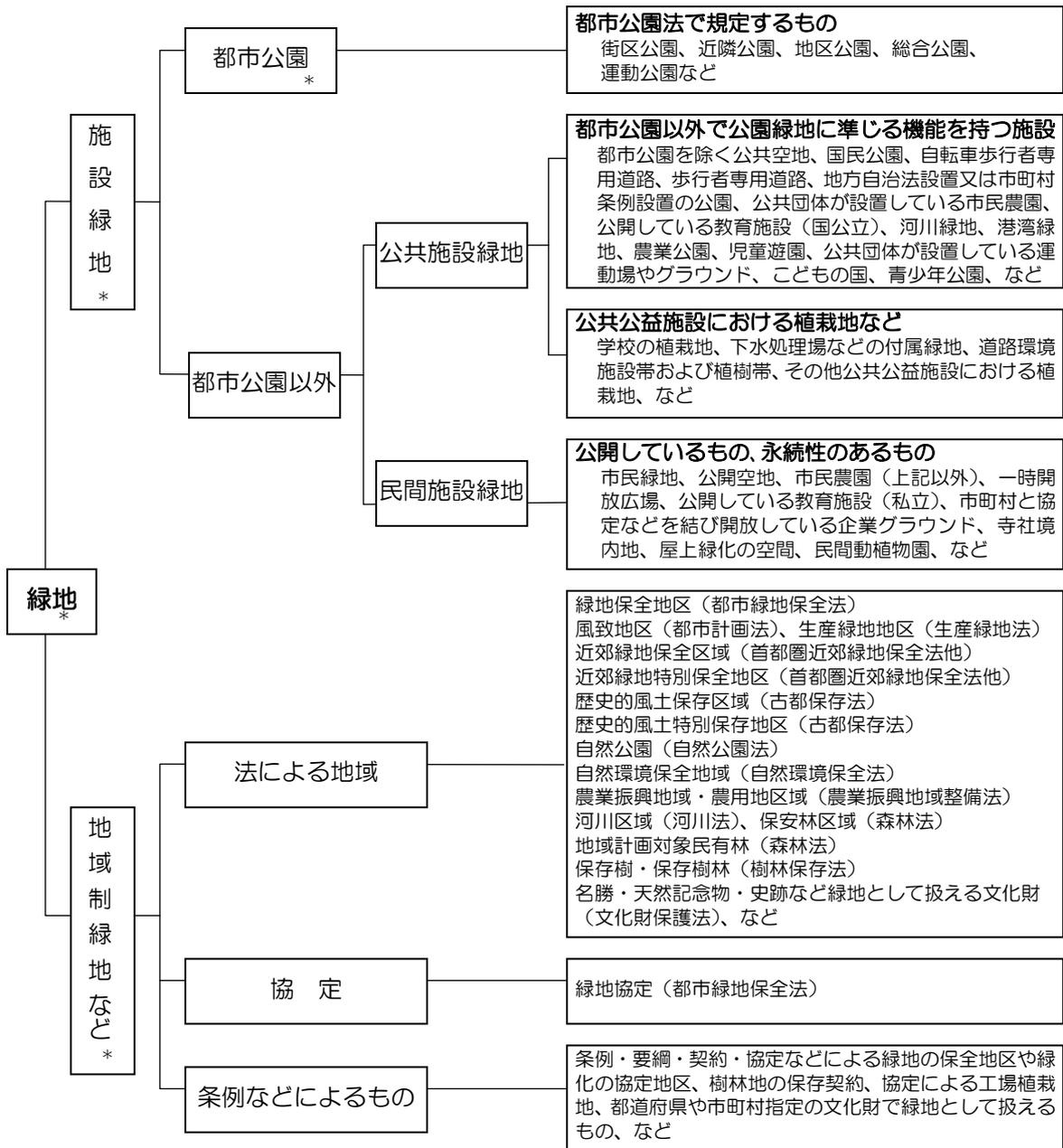


■関係計画との関係図

### 3. みどりの基本計画の「みどり」とは

「登別市みどりの基本計画」では、都市緑地保全法などにより示されている緑地(下図)のほかに、登別市の大切な自然環境である、山地、湖沼、海岸や民有地の住宅、工場、商業店舗などの樹木や生け垣、草花などの植栽地も含めて計画対象のみどりとします。

#### ■みどりの基本計画が対象とする緑地



資料：「緑の基本計画ハンドブック改訂版」

## 4. 市民参画ですすめた「登別市みどりの基本計画」の策定

「登別市みどりの基本計画」の策定にあたっては、広く市民の意見を把握するためにアンケート調査を実施しました。さらに、市民会議（まちづくりアクションプランワークショップ\*）を開催し、登別市のみどりのあり方について議論しました。

市民会議では、登別市のみどりの課題やみどりを守り・育て・つくるための具体的な意見が出されたほか、行政と市民、企業が協働して活動していくことの重要性などが提案されました。

### アンケート調査（平成 11 年 7 月実施）

配布数：2,014 票

回収数：889 票（回収率 44.1%）

### 市民会議の開催

平成 12 年 7 月～平成 14 年 1 月まで、合計 28 回開催（地区別含む）



■市民会議での検討の様子



■市民会議での検討の結果

## アンケート結果による多数意見

- ・将来のまちのイメージ ⇒ 「みどりが多く、自然に溶け込んだまち」
  - ・登別温泉・カルルス地域、登別・富浦地域⇒公園・緑地の整備が必要  
(生活環境を高めるため)
  - ・鷺別地域、幌別鉄南地域 ⇒ 道路や河川、公共施設のみどりが不足
  - ・みどりが不足している場所⇒ 海岸、商店街、工場、学校
  - ・みどり豊かで良好な場所 ⇒ 亀田記念公園
  - ・みどりを増やす手法 ⇒ 街路樹の手入れや道路の緑化、  
歩道に花壇を設置、川沿いに並木を形成
- (その他の意見)
- ・公園の質を高めるべきである。
  - ・鷺別～幌別の海岸線はみどりが少ない。
  - ・富浦の海岸付近は、カシワやクロマツなどの樹木がよく育っている。

## 市民会議で出された登別市のみどりの現状

- ・来馬岳、カムイヌプリは登別市のシンボルである。
- ・山辺に入るための散策路がない。
- ・鷺別川や西富岸川にはサクラ並木の美しいところがある。
- ・胆振幌別川は、自然環境がよい。
- ・登別川は、サケが遡上するきれいな川である。
- ・鷺別川は、よごれている。
- ・市街地に公園が少ない。
- ・学校にみどりが少ない。
- ・公園の質を高めるべきである。
- ・鷺別～幌別の海岸線はみどりが少ない。
- ・富浦の海岸付近は、カシワやクロマツなどの樹木がよく育っている。

## 市民会議で出されたみどりの課題

- ・山辺を風致地区指定\*やトラスト\*により守ることが必要である。
- ・市街地に近い山辺に散策路をつくる。
- ・札内地区の有効利用(農業的利用)を考える。
- ・川辺を利用して、公園や緑地を増やす。
- ・河畔林の復元が必要である。
- ・市街地の河川は、現在の特徴を活かしたそれぞれにあった整備を考える。
- ・鷺別岬の保全が必要である。
- ・海岸沿いのみどりは、道路を利用した植栽でつなげる。
- ・漁港を利用した拠点づくりが必要である。
- ・学校にみどりを積極的に増やす。
- ・公共施設や民間施設にみどりを増やす。
- ・キウシト湿原の保全が必要である。
- ・「年に1回1人植樹運動」を展開する。